



環境・エネルギー政策の見直しとその影響、自動車などエネルギー利用機器の将来展望等

石油産業の現状・課題と今後の展望を踏まえた 石油業界の採るべき対応策

講師



株式会社 伊藤リサーチ・アンド・アドバイザー
代表取締役 兼 アナリスト

いとう としのり
伊藤 敏憲

(敬称略)

開催日時 ▶ 2021年 1月21日(木)

午後4時30分～午後6時30分 (開場：午後4時)

会場 ▶ JPIカンファレンススクエア

東京都港区南麻布 5-2-32 興和広尾ビル ☎ 03-5793-9761

✦東京メトロ日比谷線「広尾駅」3番出口 徒歩3分✦

① 中目黒方面行きにご乗車の場合は最後尾、北千住方面行きにご乗車の場合は最前車輦。
② 3番出口を出て右手に250歩程進み、最初の信号「広尾学園前」先の赤レンガビル。
③ 1階に輸入車のショールームがあり、ビルの中央に入口。

民間参加費 ▶ 1名 33,430円 (資料代・消費税込)

2人目以降 28,430円 (社内または関連会社で同時お申込みの場合)

行政参加費 ▶ 国家公務員・地方自治体職員の方は、1名 16,500円 (資料代・消費税込)。

その他 ▶ ◆会場受講先着15名様限定◆本セミナーは、会場及び、ライブ配信受講のいずれかをご選択いただけます。参加お申込みはホームページからお願いいたします。

講義概要・項目

石油業界の事業環境は、資源情勢の変化、新型コロナ影響、地球環境問題などを背景にしエネルギー・環境政策の見直し、自動車など石油利用機器の変化により、大きく変化しつつある。元売の再編と販売政策の是正によって石油製品の国内マージンは改善しているが、今後予想される様々な事業環境の変化を考慮すると、石油業界は、開発、精製・元売、販売のすべての段階で抜本的な対策を講じる必要がある。

本セミナーでは、現状や今後の予想される事業環境の変化を分析・解説し、対策を提言する。

1. エネルギー・環境情勢の変化
 - (1)世界のエネルギー需給構造の変化
 - (2)重要性が高まった地球気候変動対策
 - (3)急速に拡大するESG・SDGsへの取組み
 - (4)米国の政権交代等、国際情勢の変化が及ぼす影響
2. 日本のエネルギー・環境政策
 - (1)日本のエネルギー事情
 - (2)日本のエネルギー・環境政策の見直し
 - (3)今後予想されるエネルギー・環境政策
 - (4)2050年ゼロ・エミッション政策とその影響
3. 原油需給・価格見直し
4. 石油精製・元売の再編・集約とその影響
 - (1)石油精製・元売の再編は最終局面へ
 - (2)精製部門は設備廃棄・集約が不可避
 - (3)元売各社の状況
 - (4)石油精製・元売に今後求められる対応策
5. 石油販売・SS業の現状と今後
 - (1)石油販売・SS業の現状
 - (2)自動車の将来展望
 - (3)石油販売・SS業の将来展望と事業者求められる対応策
6. 関連質疑応答
7. 名刺交換会 講師及び参加者間での名刺交換会を実施いたします。

【講師略歴】

1984年3月 東京理科大学卒業
 1984年4月 大和証券株式会社入社、1984年6月 現(株)大和総研出向、1995年3月 (株)大和総研転籍、1999年1月 (株)大和総研退社
 1999年1月 現HSBC証券株式会社入社、2000年4月退社 2000年4月 現UBS証券株式会社入社、2012年1月退社
 2012年1月 (株)伊藤リサーチ・アンド・アドバイザー設立 (現任)
 2013年9月 EY総合研究所株式会社 客員研究員就任、2015年6月退任
 2016年7月 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 投資銀行本部 シニアアドバイザー就任 (現任)
 <所属協会・団体・学会等> 日本証券アナリスト協会 エネルギー・資源学会

